

ウエルカム・トゥ・ビギナーズ! 初心者講座、本気印の連載開始!!

平成15年9月12日第三種郵便物承認
2015年1月30日発行(隔月奇数月30日発行・隔月奇数月30日発売)

カーオーディオマガジン

car audio magazine

1 [2015.Jan]
vol.101

巻頭
特集

フロントスピーカー 攻略法!!

カーオーディオシステムの
最有力ユニット

[特別付録]

調整用としてキープしたい一枚!!
ワールドワイドの基準CD
「コンペティション・ディスク
EMMA2014/2015」



The capture method
to sound a speaker

フロントスピーカーを
鳴らしていますか?

本気印の初心者講座!!
第1回 純正システムからのステップアップ!!

実力派ブランド、続々新製品デビュー
2014 AUTMUN BRAND NEW

- BLAM LIVE&Relax SELIES
- DIATONE SOND.NAVI NR-MZ90PREMI
- DIATONE DS-G500
- Panasonic Strada「美像Navi」
- Pioneer Car Play SPH-DA700

好評連載 カーオーディオを始めようと思ったときの第一歩!!
「システムデザイン100選」
第4回 デジタルイコライザー



ユニットのスペックを知らずして
カーオーディオは語れず!
CAR AUDIO UNIT&PARTS

中級者のためのステップアップ講座
第10回 パワーアンプ選び&活用で高音質を追求する

狙ったサウンドを作るサウンドチューニング
自分でできるカンタン調整法
第5回 サブウーファーで音楽をもっと楽しくする調整法

The capture method

Front speakers are finished!?

巻頭
特集

to sound a speaker

フロントスピーカーを
鳴らしきっていますか!?

初心者でも中級者でも、
まして上級者であっても
音の変化をつかみとりやすい
フロントスピーカー。
それがハイエンドシステムではなくても、
純正スピーカーから
市販のコアキシャルスピーカーに
変更しただけでも分かるというもの。
今回は永遠の定番ユニット、
フロントスピーカーについて
考えてみようと思う。
ちなみにシステムスタートから
フロント3ウェイとかにしないほしい。
少しずつ、少しずつ……。

フロントスピーカー 攻略法!!!

カーオーディオシステムの
最有力ユニット

Hi-Teck Style!!



Chevrolet **Chevelle** Wagon



■ スタムの仕上げ方は白人系、またカラード系と大抵のスタイルで大別できてしまうもの。また履きこなすホイール一つで路線は分かれる。アルミ削り出し、メッキ、鍛造など、そんな部品の話ともなればまさに話はスクランブル。それでエリアが西海岸、東海岸とも変動すれば、そこそこ話は複雑になっていく。それを理解できない……ともなれば、結果“日本解釈”ですたれていってしまう。そして最後は大人たちの秘密事で終わる。

このシェベルワゴンのオーナーはこれだけ白人系要素が強くて、さほど人種ごとのカスタムにこだわってはいない。15年前、無残に放置されていた同車を手にしてからレストア&カスタムを繰り返してきただけ。好きなクルマに乗っているだけ……。そこに今回、サウンドというキーワードが加味されただけ。

ただカッコいいクルマは面白いクルマと明確に一線を画す。そこに必ず理由があるのは事実なのだ!!

カーオーディオシステムの最有力ユニット

攻略法!!

フロントスピーカー
The capture method
to sound a speaker

巻頭
特集

Cover car on monthly vol. 101

攻略法!!
フロントスピーカー
The capture method
to sound a speaker
巻頭特集



1_それぞれのベースによって取り付け位置が変化するフロントステージだが、このベースはキックパネルにミッド、そしてAピラーにトゥイーターを配置する。ステージの広がり、足下にも広がる中低域のサウンドはまさに理想的な空間を演出してくれる。ちなみにトゥイーターはあえて大傾斜角度を付けることなく、デザイン上の自然さを考慮して、Aピラーと同角度でインストールしている。
2&3&4 純正オーディオを活用したが、当然のごとく音は悪く、灰皿にインストールしたユニバーサルモデルのリモートオーディオ・ソースユニット(USB2系統、電子ボリューム搭載など)を採用、さらに有線ドライブするiPodも活用しているが、2つのメディアソースはオーディオン・ビットワンによって完全コントロールされる。

Car audio system unit

ヘッドユニット/レトロオーディオ
プリアンプ・デジタルイコライザー/オーディオン・ビットワン
パワーアンプ/REオーディオ・USX-4250&45VK.1
フロントスピーカー/REオーディオ・XXX6.5C
サブウーファー/REオーディオ・SCVX2-10
RCA&スピーカーケーブル/ベルデン
パワーケーブル/オーリックス

オーナー/中村裕一(千葉県長生郡)
ベースカー/シボレー・シェベルワゴン '71年型
製作ショップ/カーオーディオセンター
オーディオフィル Tel.0476-90-4660
http://www.audiophile.co.jp
Special Thanks
ANDY'S Rod Works
Photo 犬塚成樹



*Hi-Tech
around
style
quality
condemnation*

Check point!

拡散性の高いソフトドーム、
指向性の強いハードドーム。
その選び方ひとつで音の方向性は変わるゾ!!

フロントスピーカー REオーディオ XXX6.5C



音作りに縛られ過ぎるのも一考する必要があるのは当然。コクピットまわりの美しさで見落としかちだが、以下のようなポイントが挙げられる。「隠しすぎてはいけない」「角度を付けすぎて、車内のデザインを崩してはいけない」。そして「音のつながりを一考する」といったなかで、トゥイーターは一つのキーユニットになった。ソフトドームは拡散性が高く、ソフトは指向性が高い。いわゆるサウンドチューニングでは拡散性が高いためラクな面があるが、ハードは指向性の高さで難易度は高いが、チューニングポイントが適切であれば無窮な感覚を体現できるという。どちらを選ぶかはオーナーの音楽の方向性にも違ってくる。



▲後ろからではなかなか確認できないパワーアンプは4chとモノの2基態勢とする。ブラック系生地にブラックの色合いがシックに映えている。



▲バンチンググリルの奥にはREオーディオのサブウーファー・SCVX2-10をヒドゥン。隠すレイアウトデザインが多くなるのがハイテックスタイルの特長、いわゆるストックね。

15年前に放置してあったお宝をレストア開始!
ハイテックスタイル&サウンドのこだわり凝縮!!



▲内装も入手したころはボロボロだったが、純正オリジナルインテリアキッドでフルトリム、そして美観を手に入れた。ラゲッジは潰すことなく、エンクロージャーをレイアウトするに留まる。それを保護するプロテクションにはボウタイがシボレーイメージを意識させる。

古きを訪ね、これじゃあ乗れないので、新しき面影へシフト……。そんな思いで15年前のお宝は再三に渡るレストアを繰り返し、ハイテック(スタイル手法は「カスタムcar」誌誌参照)へと変貌する。しかし「音のない世界は楽しくない」と、カーオーディオもインサートしてライフスタイルを円滑に歩むようになったという。
ノスタルジーなりリモートオーディオがコクピットでスムーズな存在を放てば、それに加味してiPodがスタンバイ。そしてオーディオのビットワンを介して、そこからREオーディオワールドへと続く。クラス AB 4ch アンプとモノブロッククラス DE で 16.5cm 2ウェイスピーカー・XXX6.5C、そしてサブウーファーはトルクのある"太くて、いい音"を再生する SCV2-10 を選択。低音は豊かに、フロントステージはリズム感を大事にしたという音作りは人気ブランドの RE オーディオで完結することに。
仕上がりは1970年代を彷彿させるものだが、音は2014年の今風というのがハイテックの神髄、面白さだ!